

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	情報科教育法II		
英文授業科目名	Educational Methods for Information Studies II		
開講年度	2005年度	開講年次	2～4年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	
科目区分	教職科目-教育課程及び指導法に関する科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	香山 瑞恵		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kayama@isc.senshu-u.ac.jp	http://163.136.121.43/cc/ http://www.mext.go.jp/b_menu/shuppan/sonota/990301d/990301k.htm

【主題および達成目標】
<p>(a) 主題：授業計画、教材開発、評価等、指導トピックを定めた授業シミュレーションと模擬授業の実施とが主となる。模擬授業に対する討論や、グループでの授業計画立案等の多様な学習活動を通して、教科「情報」を展開する上での実践的知識・スキルの体得および向上を狙う。</p> <p>(b) 達成目標：自らが意図する教科「情報」の授業を企画／準備／実践できること。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
情報科教育法1。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
情報科教育法1と同様。

【教科書等】
教科書：情報科教育法1と同じ。 参考書：随時指定。

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容

- 1：情報教育を支える人的・物的要件
- 2：教科「情報」と他教科との関係
- 3：自己表現・情報創造力を育成するための授業計画と教材開発
- 4：生徒の学習活動に対する評価の在り方・方法
- 5：「情報科教育論」のまとめとしての模擬授業の実施と授業評価・改善

(b) 授業の目的：

- ・教科「情報」の授業イメージや基本的な授業展開を体験的に理解する（模擬授業と授業シミュレーションの導入）
- ・実際に授業を行う上で必要になる授業設計・計画（教材開発を含む）・実施・評価・改善の考え方や方法を修得する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

全ての課題レポートの提出を前提とし、出席、レポート内容、講義へのコミットメントを総合的に判断する。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けません。質問等は電子メールで受け付けます。

【学生へのメッセージ】

【その他】

情報科教育法1を受講した上で、この講義に参加してください。